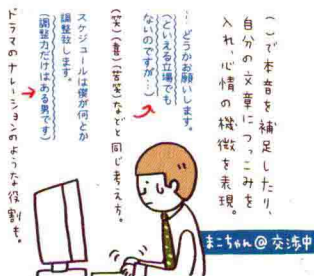


暮らしの絵本

杉山美奈子◎監修／伊藤美樹◎絵

杉山美奈子◎監修／伊藤美樹◎絵



Gakken



9784053025418



1922077012009

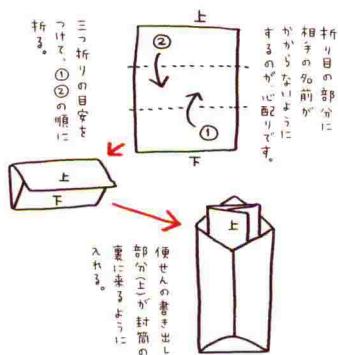
ISBN978-4-05-302541-8

C2077 ¥1200E

1330254100

定価： **本体1,200円**

※税が別に加算されます。



監修◎杉山美奈子(すぎやまみなこ)

「ことばと気持ちのおしゃれ」をテーマにエッセイを書く、M's代表「暮らしの絵本」シリーズ(学研)の監修は、「話し方のマナーとコツ」に次いで2冊目。著書に好感度急上昇の話し方・聞き方・伝え方「だいむ文庫」、「手紙美人へのプチ作法」(光文社)知恵の森文庫、「役とハッピーになれる話し方のコツ」(祥伝社)、「美人の話し方」(PHP研究所)、「ことば美人へのプチ・レッスン」(ワニ文庫)他がある。

絵◎伊藤美樹(いとうみき)

1969年、神奈川県生まれ。2001年よりフリーのイラストレーターとして活動開始。著書に学研刊の「暮らしの絵本シリーズ」(食べ方「贈り方」話し方「お仕事」)「ぐさ」ウエディング「おつきあいの各本」があり、「おうち歳時記」(成美堂出版)などがある。

(<http://homepage2.nifty.com/tmk/campus/>)

暮らしの絵本

書き方のマナーとコツ

二〇〇七年一〇月三十一日初版発行

発行人 安養寺重樹

編集人 金谷敏博

編集長 伊川龍郎

編集担当 目黒哲也

発行所 株式会社 学習研究社

〒145-8502 東京都大田区上池台四-四〇-五

データ製作 株式会社 デイ・キューブ

印刷所 日本写真印刷株式会社

お客様へ

●ご購入、ご注文は、お近くの書店へお願いします。

●この本についての質問は次のところへお願いします。

・編集内容に関しては、電話：〇三三三-七六八八(三編集部直通)

・在庫、不良品に関しては、電話：〇三三三-七六八八(八出版営業部)

・アンケート、ほかの個人情報に関しては、電話：〇三三三-七六八八(四学校社会教育出版営業部)

・学研お客様センター「暮らしの絵本 書き方のマナーとコツ」係

文庫は、〒146-1850 東京都大田区仲池上-1-7-15

電話は、〇三三三-七六八八(四)へお願いいたします。

© GAKKEN 2007. Printed in Japan

本書の無断転載、複製、複写(コピー)、翻訳を禁じます。

複写(コピー)を希望の場合は、左記までご連絡ください。

日本複写権センター 電話：〇三三四-1133(八)

画(日本複写権センター委託出版物)

はじめに	2
書き方上手になるために	12

第1章 愛される人、好かれる人のメール術	17
----------------------	----

メールの考え方、メールとの向き合い方	20
メールのおつきあいの基本	22

相手のメールの「真意」を読み取る	24
スムーズなメールのやりとりを楽しむコツ	26
メールで好意を寄せる	28
ネガティブメール、励ましメール	32
できれば避けたい、メールのNG集	34
「親しみ」を伝えるための、メール演出術	36
携帯メールの基本マナー	40
PCメールの基本①〈件名〉	42
PCメールの基本②〈差出人・あて先〉	44
PCメールの基本③〈書き出し〉	46
PCメールの基本④〈末文・署名〉	48
PCメールの基本⑤〈読みやすさ〉	50
PCメールの基本⑥〈テクニカルな常識〉	52
メールにまつわる疑問	54
メールにありがちな失敗、その対策	56

お礼の気持ちを伝える	60
贈り物をする	64
お願いをする	66
約束をとりつける・誘う、待ち合わせ当日	68
返事をする	70
お誘いや依頼を断る	72
謝る、お詫びをする	74
苦情やクレームを伝える	76
転居・結婚・異動・転職のあいさつ	78
年賀状、暑中見舞いの考え方	82
書きにくい年賀状あれこれ	84
ブログ、ホームページ、掲示板	86
FAXのマナー	90
電話、伝言メモのポイント	92

第3章

これだけは知っておきたい、手紙の基本

手紙は、それ自体が素敵なプレゼント

手紙アイテムの使いわけ

和封筒の書き方

洋封筒、ハガキの書き方

きちんと手紙の基本①〈構成様式〉

きちんと手紙の基本②〈冒頭の言葉と結語〉

きちんと手紙の基本③〈時候のあいさつ〉

きちんと手紙の基本④〈あいさつ・主文の始まり〉

きちんと手紙の基本⑤〈末文〉

手紙のマナーQ & A

プチ手紙の基本〈一筆せん、メモ、メッセージカード〉

100 102 104 108 110 112 114 120 124 126 130 99

コラム◎こんなときは、メールを使いたい

コラム◎文章を書くときのコツ

コラム◎書き言葉特有の表現

コラム◎手紙グセをつけるためのアイデア

コラム◎文字を上手にみせるコツ

コラム◎思いつきで、誰かに手紙を書いてみる

コラム◎アイデア手紙

38

94

98

132

134

136

138

暮らしの絵本

書き方のマナーとコツ



杉山美奈子◎監修
伊藤美樹◎絵

メールなら好きな時間に送信できるし、自分の書きたいことを書けるし、

送信前に何度も書き直せるので、ある意味、話すよりも気が楽かもしれません。

また、用事がなくても、相手と気軽にコンタクトしようという気にもなりません。

「書き言葉」が、身近になりました。メールのおかげです。

一方、手紙は「トラディショナルな書き言葉」です。

手紙は手間のかかっている分、もらうとうれしいし、

相手のいいねいな気持ちも伝わってきます。

でも、誰もがこんなふうに感じたことがあるのではないのでしょうか？

「言いたいことを、わかりやすく文章にまとめるのがむずかしい」

「あの人への初メール。返信をもらえるメールにするには、どうすればいい？」

「書き言葉にすると、気持ちの微妙なニュアンスがなかなか伝わらない…」

「ふだん手紙を書かないから、きちんとした文面の手紙の書き方がわからない」

メールや手紙は、相手に誤解をされたとき、

会話のように、その場で訂正することはできません。

文字だけだから、気をつけないければ思うほど、気持ちがすれ違ったり、誤解されたり、どう書けばよいのかわからなくなってしまいうことも多いでしょう。

では、そういうとき、どうしたらいいのでしょうか？

メールや手紙を、〈気持ち伝えるための便利な道具〉と考えてみてください。

道具は便利ですが、それがひとりで何かをしてくれるわけではありません。

便利な道具ほど、使い手のセンスが問われるのです。

道具のことをよく知り、使い方のコツを身につけることで、

その便利さを十分に活かすことができます。

この本を、「メール・手紙」という道具を使いこなすために読んでいただけたら、

そのことで、あなたと誰かの距離がちょっとでも縮まったら、

こんなに嬉しいことはありません。

はじめに	2
書き方上手になるために	12

第1章 愛される人、好かれる人のメール術	17
----------------------	----

メールの考え方、メールとの向き合い方	20
メールのおつきあいの基本	22

相手のメールの「真意」を読み取る	24
スムーズなメールのやりとりを楽しむコツ	26
メールで好意を寄せる	28
ネガティブメール、励ましメール	32
できれば避けたい、メールのNG集	34
「親しみ」を伝えるための、メール演出術	36
携帯メールの基本マナー	40
PCメールの基本①〈件名〉	42
PCメールの基本②〈差出人・あて先〉	44
PCメールの基本③〈書き出し〉	46
PCメールの基本④〈末文・署名〉	48
PCメールの基本⑤〈読みやすさ〉	50
PCメールの基本⑥〈テクニカルな常識〉	52
メールにまつわる疑問	54
メールにありがちな失敗、その対策	56

お礼の気持ちを伝える	60
贈り物をする	64
お願いをする	66
約束をとりつける・誘う、待ち合わせ当日	68
返事をする	70
お誘いや依頼を断る	72
謝る、お詫びをする	74
苦情やクレームを伝える	76
転居・結婚・異動・転職のあいさつ	78
年賀状、暑中見舞いの考え方	82
書きにくい年賀状あれこれ	84
ブログ、ホームページ、掲示板	86
FAXのマナー	90
電話、伝言メモのポイント	92

第3章

これだけは知っておきたい、手紙の基本

手紙は、それ自体が素敵なプレゼント	100
手紙アイテムの使いわけ	102
和封筒の書き方	104
洋封筒、ハガキの書き方	108
きちんと手紙の基本①〈構成様式〉	110
きちんと手紙の基本②〈冒頭の言葉と結語〉	112
きちんと手紙の基本③〈時候のあいさつ〉	114
きちんと手紙の基本④〈あいさつ・主文の始まり〉	120
きちんと手紙の基本⑤〈末文〉	124
手紙のマナーQ & A	126
プチ手紙の基本〈一筆せん、メモ、メッセージカード〉	130

コラム◎こんなときは、メールを使いたい……………38

コラム◎文章を書くときのコツ……………94

コラム◎書き言葉特有の表現……………98

コラム◎手紙グセをつけるためのアイデア……………132

コラム◎文字を上手にみせるコツ……………134

コラム◎思いつきで、誰かに手紙を書いてみる……………136

コラム◎アイデア手紙……………138

◎ イラスト…伊藤美樹 ◎ デザイン…寺井恵司 ◎ 編集・構成…根岸伸江 ◎ 編集協力…斉藤友希、田中宏樹(学研)